

## 区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年10月21日（水） 14時から16時
会 場	東部区民活動センター 洋室2・3
テ ー マ	中野区基本構想改定検討素案について
出席者 区 民	計14人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、中部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当係長
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>基本構想検討素案についての区民意見交換会は、2月に1回実施した後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中断していた。この意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえて基本構想検討素案を改定したので、改めて実施することとしたものである。</p> <p>基本構想は、中野が10年後に目指すまちの姿を描くものである。重視しているのは、少子高齢化対策である。日本全体の人口は減少しているが、中野区は、当面の間は人口は減らないと推計している。しかしながら、現在、0～14歳が区の全人口に占める割合は、23区中で最下位である。子育て家庭が暮らしやすい環境を整えていく必要がある。また、中野区の65歳以上の人口は増加傾向が続き、一方、総人口は2035年をピークに、その後減少すると考えている。これから、3人に1人が高齢者という社会が到来する中で、地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるようにしていく必要がある。</p> <p>また、災害についての備えも重要だと考えている。近年、全国各地で台風等による被害がでている。中野区でも、しっかりと備えていく必要があると思っている。</p> <p>中野の10年後のまちの姿を、区民の皆さんと一緒に考えて、目指していきたい。皆さんの意見を聴かせてほしい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>子育て家庭への支援については、区としてやっていくことがたくさんあると思う。優先的に行ってほしいのは、育休中の母親の人材活用である。行政に、育休中の人の声が届くようにしてほしい。</p>	<p>区は、子育て家庭と区長のタウンミーティング（子育てカフェ）を実施している。育児休業中の方も含めた子育てをしている保護者の声を施策に活かしていきたい。</p>
<p>一時保育を利用しようと思ったときに、1か月待ちの状態だった。保育園が少ない地域であり、遠いところにやむを得ず預けた。そういったことがないよう、利用しやすくしてほしい。</p>	<p>一時保育が利用しにくいという声はきいているが、実績をみると、稼働率は低い。利用希望日が重なるということもあるかもしれない、今、分析している。</p>
<p>室内遊具施設の誘致をしてほしい。有料でも良いので使いたい。1～3歳が、雨の日に遊べる施設は限られる。新型コロナウイルス感染症への対策で、遠くまで行くのははばかられるので、近くにほしい。</p>	<p>子どもの屋内の遊び場づくりは重要であると考えており、誘致を検討したい。</p>
<p>託児付きのコワーキングスペースを誘致してほしい。ベビーシッターに預けて仕事をしていたが、大変だった。利用者が子育ての悩みを相談できるなど、新たなコミュニティも生まれ、良いと思う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、リモートワークしている人たちから必要という声はきいている。</p>
<p>本町図書館がなくなるということなので、代わりに移動図書館を設けてほしい。</p>	<p>閲覧席が約300席ある大きい新しい図書館ができる。また、子どもの専用フロアも設ける予定なので、利用してほしい。今後も、子どもたちの読書環境の向上について、取り組んでいきたい。</p>
<p>中野区の休日当番医には、耳鼻咽喉科と眼科がないので、緊急の場合に困る。隣接する区はあるようなので、その情報についても区報で周知したり、隣接する区と連携して輪番制にするなど、工夫してほしい。</p>	<p>休日当番医の診察対象外の診療科を受診したい場合は、東京都医療機関案内サービス「ひまわり」で、医療機関を紹介しているので、ご利用いただきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>本町図書館の土地は、寄贈されたものだと思うので、寄贈した人の意向を尊重した活用をしてほしい。</p>	<p>本町図書館のなくなった後の活用方法は、検討している。当該土地の寄贈者の意向に反しないように、活用していきたい。</p>
<p>いちよう公園に、PCR検査を待つスペースがあるというのは、本当か。</p>	<p>いちよう公園を待機場所にはしていない。PCR検査の実施場所は非公開としている。</p>
<p>中野駅の近くの道路にある喫煙所に人がたくさんいた。新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、対応すべきだと思うが、どうか。</p>	<p>喫煙所の利用については、密にならないよう注意を促すポスターを掲示し、利用者の意識啓発を図っている。今後も密にならないように、注意していきたい。</p>
<p>まちの姿（１）は、基本構想審議会の答申では、ゆるやかなつながりにより、様々な活動が盛り上がり、心豊かな「なかの暮らし」を形成するという主旨だったと思うので、「東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信します」は、まちの姿（４）に位置づける方がよい。</p>	<p>中野駅周辺まちづくりは、多様な経済・文化活動との親和性が高いため、まちの姿（１）に位置づけている。</p>
<p>まちの姿（１）の表題に、基本構想審議会の答申と合わせて、「ゆるやかなつながり」という文言を盛り込んでほしい。</p>	<p>このまちの姿では、従来の地縁によるつながりや、文化芸術・経済活動等を通じたつながりを含め、多岐にわたるつながりを描いている。</p>
<p>駅周辺のまちづくりにも子育て家庭に向けた視点が必要だと思うので、基本構想審議会の答申と合わせて、まちの姿（２）に、「駅周辺のまちづくりの進展により、子育て家庭にとって魅力的な空間・施設・店舗やイベント等が集積しています」という文言を盛り込んでほしい。</p>	<p>子どもと子育て家庭の視点は、区全体のまちづくりにおいて必要であると考えているため、「子育て世帯が住み続けたいまちをつくります」では、駅周辺に限定しない表現としている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、保健所の機能強化が必要だと思うので、「健康についての相談・検診・予防等の体制整備」についての項目を追加してほしい。</p>	<p>具体的な取組内容については、基本計画等の中で検討していく。</p>
<p>「東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信します」について、「シンボル拠点の形成」という文言や、周辺地域への波及効果が生まれていることを盛り込んでほしい。</p>	<p>シンボル拠点の形成や周辺地域への波及効果については、「新たな活力とにぎわいのシンボル」や「区全体を持続可能な活力あるまちへとけん引する」といった文言で記載している。</p>
<p>「東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信します」について、基本構想審議会の答申と合わせて、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりにより回遊性が高まっていることを盛り込んでほしい。</p>	<p>今後、基本構想への記載について検討していきたい。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野サンプラザの後に建つビルの高層化には反対である。</p>	<p>中野駅新北口駅前エリアの拠点施設整備は、めざまちの将来像や再整備事業計画を踏まえると、ビルは高くなることが想定されるが、ビルの高さよりも、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者中心のまちとなることが重要だと考える。</p>
<p>「災害に強く回復力のあるまちづくりを進めます」に、「早急に復旧できる回復力のあるまちづくり」とあるが、実現が難しいことであり、楽観的な表現だと感じる。</p>	<p>近年の大規模な自然災害の発生などを踏まえ、災害から早期に回復することを目指したまちづくりに取り組んでいく必要があると考えている。</p>
<p>新しくなった中野区のハザードマップは、よくできていると感じる。近年の台風の規模だと、水害想定があまいのではないか。救命ボート等の水害対策用の備品も必要になる事態も起こる可能性があると思うので、配備してほしい。区役所の庁舎を早く建て替えて、災害拠点として機能するようになってほしい。</p>	<p>昨年の台風の経験を踏まえて、ハザードマップを改定した。外国人の住民が多く避難所に避難してきたことから、外国語版も作成した。ハザードマップをぜひ確認してほしい。水害対策用の備品についても、今年度、配備した。現在の区役所は、耐震性が低いので、災害応急活動に必要な耐震性能を備えた建物に建て替えていく。</p>
<p>土砂災害について、中野区は、盛り土が多い地域だと思うので、対策をしてほしい。</p>	<p>土砂崩れも起こっているという実態もあるので、注意が必要ということを発信していきたい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症について、中野区の致死率や重症者の情報を公開してほしい。特に、65歳以上等、重症化しやすい年代についてのデータを新しい日常を築くためのバックデータとして公開してほしい。また、高齢者施設の職員等に対するPCR検査の実施状況は、どうなっているか。</p>	<p>中野区の致死率や重症者の情報は、東京都が把握しており、区は知らされていない。入手できるよう、働きかけていきたい。 高齢者施設の症状がない職員に定期的にPCR検査をすることはしていない。検査は、その時点のものなので、効果が不明だと考えている。保健所の検査体制も追いつかない。現在は、多い場合で100件近くの検査を実施しており、症状がある人の検査を適切に行っていきたい。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、商店街は疲弊している。プレミアム商品券事業を実施してほしい。また、職員には、商店街の実情を見に来てほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大で実感したのは、商店街は大切だということだ。自宅にいる人が増え、商店街が充実していることが、暮らしが豊かになることにつながる。これから郊外に移住する人もいると思うが、魅力ある商店街がすぐ身近なところにあり、そういったことを好む価値観を持つ人は、これからも多くなると思っている。プレミアム商品券については、今年度内に実施する予定である。また、職員が現場を知ることは重要なことだと思っている。</p>
<p>商店街に若手が入ってこないという現状がある。何か対策はないか。</p>	<p>事業承継は、家族の問題でもあり難しい問題だと思っている。事業で、売り上げがあがり、生活が成り立つよう、店舗に対する個別経営支援に区は力を入れていきたい。</p>